

D. 痴呆の状態（4段階）（MOSESによる評価）

各項目について、この一週間の日中の行動を最もよく表しているものを選んで○を付けてください。（ ）内には具体例が挙げられています。

1. 着衣

一週間のほとんどの日において、

0. 介助なしに自分で着始め、着ることができた。
1. いくつかの指示で着ることができた。
2. 着られたが、介助が必要であった。
3. 介助者に全て着せてもらった。

2. 入浴（風呂とシャワーを含む）

0. 指示されずに自分自身で準備をして、入浴を完了した。
1. いくつかの指示で入浴することができた。
2. 部分的にはできたが、介助が必要であった。（例えば、浴槽、シャワー室に入ったり出たりするときや、洗ったり拭いたりするとき部位によっては必要）。
3. 完全に介助者に入れてもらった（寝たまま入る風呂も含む）。

3. 整容（髪の手入れ、爪切り、歯みがき、髭剃りなどを含む。着衣や入浴は含まない）

この一週間、

0. 監視の必要なく整容できた。
1. 一部指示、介助が必要であった。
2. しばしば指示、介助が必要であった。
3. 介助者が全部おこなった

4. 失禁（尿も大便も）

一週間のうち、どのくらいの頻度で失禁したか。

0. 全く無い。
1. 夜間のみ。
2. 日中。
3. しばしば（一日に一回以上）。

5. トイレの使用

一週間のうちトイレを使ったほとんどのとき、

0. 自分でトイレに行き、指示されることなく自分でトイレを使用した。
1. いくつかの指示でトイレを使用することができた。
2. しばしば介助が必要であった。
3. 介助者に全ておこなってもらった（トイレへの移乗、トイレからの移乗をしてもらわないといけない場合や尿瓶、便瓶の使用、カテーテル、人工肛門が入っている場合もこれに含まれる）。

6. 移動

一週間のほとんどの日、建物の中を動き回るとき、

0. 手助けなしに歩いた.
1. 自分で、歩行具（杖、ウォーカー）を使用し移動した.
2. 介助者の助けで移動した.
3. 寝たきりあるいは椅子に座ったまま. (椅子に座ったままというのは日中はベッドから椅子に移っても全く移動をしない状態をいう).

7. ベッドの乗り降り

一週間のほとんどの日、建物の中を動き回るとき、

0. 身体的な助けを必要とせずにベッド乗り降りをした.
1. 道具を使ってベッドの乗り降りをした (例えば、踏み台やスライディングボードのみ使用) .
2. 介助者の身体的な助けを必要とした.
3. 一日中ベッドにいた.

8. 行動の制限 (例えば、ベッドの柵、やわらかい紐、抑制用の椅子など).

一週間の日中、どのくらいの頻度で行動の制限を行ったか.

0. 全く無し.
1. 短時間が1日～3日.
2. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日.
3. しばしば (一日のほとんどという日が4日以上).

9. コミュニケーションの理解 (言葉、文字、身振りなどの理解)

一週間で、コミュニケーションをしたとき、

0. 明確に理解した.
1. 短いことだけ理解した (短文や身振りなど).
2. 繰り返せば理解した.
3. 全く理解しなかった.

10. 発話 (本人の話す能力)

一週間のうち、話したほとんどのとき、その話しは

0. 首尾一貫していて論理的だった.
1. 初めは論理的であったが、話しているうちに支離滅裂となった.
2. 首尾一貫しているようであるが、無関係な会話であった.
3. ほとんど意味をなさない (例、めちゃくちゃ、無意味なフレーズ、無意味な音声)
- x. この質問はあてはまらない. 話さなかった.

11. 屋内の場所の認識 (例, 自分の部屋, お手洗い, ダイニングルームを見つけることができるか)

一週間のうち日中どのくらいの頻度で自分が住んでいる屋内で場所を間違えたか (混乱したか)

- 0. 全く無し
- 1. 週に1回~3回.
- 2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日~3日.
- 3. しばしば(何回もという日が4日以上).
- x. この質問は当てはまらない. その人は介助者や家族の助けなしには動かない.

12. 家族 (職員) の認識

一週間のうちほとんどの日,

- 0. 名前や役割で家族や職員を識別した. (例, 兄, 母, 補助者, 看護婦など)
- 1. 1人ないし2人の家族や職員を, 名前や役割で識別した.
- 2. 訪問客と家族又は職員の区別はつくが, 名前や役割はわからない.
- 3. 他の人と家族又は職員の区別はつかない.

13. 場所 (居住地) の認識

一週間のうち,

- 0. 自分がどこで暮らしているのかきちんと分かっていた (住所や都市名, 町名)
- 1. どのような所で暮らしているのか分かるが, その名称や住所は分からない.
- 2. どのような所で暮らしているのか理解しているようなときもあるが, 混乱することもある.
- 3. どのような所で暮らしているのかについて, いつも混乱 (例, 他の所で暮らしていると思ってしまっている).
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

14. 時間の認識

一週の大部分の日に, (a)年 (一年の誤差は可), (b)季節, (c)適切な時刻 (例, 朝であるか昼食後であるか夕食後であるか) がわかっているかどうか.

- 0. 3つともわかっていた. (年, 季節, 時刻)
- 1. 3つのうち2つがわかった
- 2. 3つのうち1つわかった.
- 3. 3つとも全て混乱していた.
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

15. 最近の出来事の記憶 (一週以内のレクリエーション, 食事, 訪問者, のような日々の出来事)

一週において,

- 0. ほとんどの最近の出来事を明確に思い出せた.
- 1. ぼんやりではあるが最近の出来事を思い出せた.
- 2. 最近の出来事のいくつかは思い出せたが、他の事は完全に忘れていた.
- 3. 出来事の数分後にはそのことを忘れてしまっているようであった.
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

16. 重要な過去の出来事の記憶 (例, 生年月日, 自分がしていた仕事, 家族や親友の名前, その人たちが生きているか亡くなったか)

一週において,

- 0. 過去の出来事の多くを正しく容易に思い出せる.
- 1. いくらか努力すれば多くの出来事を思い出せる.
- 2. いくつかの出来事は思い出せたが、他は忘れていた.
- 3. これまでの人生のほとんどの出来事について混乱している.
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

17. 悲しそうで憂うつにみえる (例, 涙を浮かべる, 暗い, 不幸そう, 悲しそうに見える. 但し, 退屈, 無関心, 心配, 不安そうに見えるのは含まない)

一週においてどのくらいの頻度で悲しそう, 憂うつそうにみえたか.

- 0. 全く無い.
- 1. 短時間が1日~3日.
- 2. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日~3日.
- 3. しばしば (一日のほとんどという日が4日以上)
- x. 評価不能. その人は顔の表情を暗くみせる顔面麻痺や身体的問題があるため (例, 脳卒中, パーキンソン病)

18. 悲しい, 憂うつであるとの訴え (悲しいとか, 憂鬱だとか, 他の所へ行きたいと言う. 但し, 介助に対する不平は含まない. 不安であると言うことは含まない.)

一週においてどのくらいの頻度で悲しみや憂うつを感じを表現した (あるいは伝えた) か.

- 0. 全く無い.
- 1. 週に1回~3回.
- 2. 1, 2回が4日以上か何回もという日が1日~3日.
- 3. しばしば (何回もという日が4日以上. 又, 死にたいとほのめかした場合も含む)
- x. この質問はあてはまらない. 話さなかった(又は伝えなかった)

19. 悲しそう、憂うつそうに聞こえる (悲しみ、憂鬱を示す音声、又は嘆き、ため息のよう
な悲しげな音声、但し、怒り、不安、急激な痛みから来る音声は除く)
一週においてどのくらいの頻度で悲しみ、憂鬱を示す音声を発したか。
0. 全く無い。
 1. 短時間が1日～3日。
 2. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日。
 3. しばしば (一日のほとんどという日が4日以上)
 - x. この質問はあてはまらない。話したり、声を出したりしなかった。
20. 心配そう、不安そうに見える (但し、悲しそう、憂うつそうにみえることは含まない)。
一週においてどのくらいの頻度で心配、緊張、不安な様子に見えたか。
0. 全く無い。
 1. 短時間が1日～3日。
 2. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日。
 3. しばしば (一日のほとんどという日が4日以上)
21. 心配、不安であるとの訴え (あることが心配であると話す。不幸だと言うのは含まない)。
一週どのくらいの頻度で、あることが気になったり不安になったりしていたか。
0. 全く無い。
 1. 週に1回～3回
 2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日～3日。
 3. しばしば (何回もという日が4日以上)
 - x. この質問はあてはまらない。話さなかった(又は伝えなかった)。
22. 泣く (声を出して泣く。但し、嘆いたり、ため息をついたり、叫んだりすることは含
まない)
0. 全く無い。
 1. 短時間が1日～3日。
 2. 短時間が4日以上か長時間が1日～3日。
 3. しばしば (長時間という日が4日以上)
23. 将来に対する悲観 (将来は希望もなく耐えがたい、ものごとが上手くいかないなどと言
う)
- 一週においてどのくらいの頻度で将来に対する悲観を示すようなことを言った (あるいは言
葉以外で伝えた) か。
0. 全く無い。
 1. 週に1回～3回
 2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日～3日。
 3. しばしば (何回もという日が4日以上)
 - x. この質問はあてはまらない。話さなかった(又は伝えなかった)。

24. 自己への関心

一週においてどのくらいの頻度で、困惑や悩みのために自分のすべきことに集中できないことがあるか。

0. 全く無い。
1. 週に1回～3回
2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日～3日。
3. しばしば (何回もという日が4日以上)

25. 介助者に協力的か (配膳、入浴、身だしなみ、投薬に対する協力)

一週において他の人と接するとき、

0. いつも積極的に自分の介助に対して協力的 (可能なときは手伝ったり参加したりする)
1. 受身ではあるが自分の介助に協力する。
2. 介助しようとするときにたまに抵抗する。
3. 介助しようとするときほとんどいつも抵抗する (協力を得るのはかなり難しい)。

26. 要求や指示へ従うか

一週において介助者や家族の要求や指示のほとんどは：

0. 抵抗や憤慨することなく、いつも従った。
1. 不満そうではあるが抵抗なく従った。
2. 文句を言い身体的抵抗を示したが、従った。
3. 抵抗を示して、最終的には身体的に介助者が強引に行った。
- x. 理解不能であった。(簡単な指示でさえ理解できないほど精神的あるいは身体的に障害がある場合を含む)。

27. いらいら

一週においてどのくらいの頻度でいらいらしたり、かんしゃくを起こしたりしたか。

0. 全く無い。
1. 短時間が1日～3日。
2. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日。
3. しばしば (一日のほとんどという日が4日以上)

28. 欲求不満への反動 (自分の要求が通らなかつたり、ものごとを待たなければならない時に罵倒したり、すねたりする)。

一週において欲求不満のとき、どのくらいの頻度で怒り出したか。

0. 全く無い。
1. 週に1回～3回
2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日～3日。
3. しばしば (何回もという日が4日以上)

29. 介助者への暴言 (叫んだり, 悪口を言ったり, 罵ったり, 脅したりすることを含む)

一週においてどのくらいの頻度で介助者や家族の人に暴言をはくか.

- 0. 全く無い.
- 1. ときどき.
- 2. しばしば、自分のしたくないことを頼まれたとき (少なくとも1回という日が4日以上).
- 3. 頻繁に、挑発されたわけでもなく、原因もなく (少なくとも1回という日が4日以上).
- x. この質問はあてはまらない。話したり、意味ある発話がなかった.

30. 他人への暴言 (叫んだり, 悪口を言ったり, 罵ったり, 脅したりすることを含む)

一週においてどのくらいの頻度で他人に暴言をはくか.

- 0. 全く無い.
- 1. ときどき.
- 2. しばしば、じゃまされたとき (少なくとも1回という日が4日以上).
- 3. 頻繁に、挑発されたわけでもなく、原因もなく (少なくとも1回という日が4日以上).
- x. この質問はあてはまらない。話さなかった、あるいは、他人に近づかなかった.

31. 他人への暴力 (介助者, 家族をぶったり, 突いたりする)

一週においてどのくらいの頻度で人をたたいたか

- 0. 全く無い.
- 1. 挑発されて1度.
- 2. 原因や挑発なしに1度.
- 3. 1度以上 (人をたたかないように抑制帯で押さえつけておかねばならないような人を含む).
- x. この質問はあてはまらない。身体的に人をたたくことができない

32. 他人との言い争い

一週においてどのくらいの頻度で他人と言い争いを始めたり, 引き起こしたりしたか.

- 0. 全く無し
- 1. 週に1回~3回
- 2. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日~3日.
- 3. しばしば (何回もという日が4日以上)
- x. この質問はあてはまらない。他人に近づかなかった.

33. 一人でいることを好む

一週において身体介助を受けていないときなど, むしろ一人にされていることを好んでいたか.

- 0. いいえ。可能なときはいつも誰かと同席することを好んだ.
- 1. 人と一緒にいるときもひとりでいるときも変わらないように思えた.
- 2. 時々, 人と一緒にいることを嫌った.
- 3. ほとんど, あるいは, いつも人と一緒にいることを嫌った.

34. 社会的な接触を持つとする（自分から話しかけたり、動作をしたり、微笑んだりする、あるいは近づいたりする）。
- 一週においてどのくらいの頻度か。
0. 頻繁に（数回という日が4日以上）介護者と他の家族の人いずれにも社会的接触を働きかける。
 1. しばしば、介護者と他の家族の人に社会的接触を働きかけるが、両方に対してではない。
 2. 時々、介護者か他の家族の人いずれにも社会的接触を働きかける。
 3. 誰にも社会的接触を働きかけない。
35. 社会的な接触に受け答える（ただ指示にしたがうとか、社会的接触に反応して人を見るだけの場合は含まれない）
- 一週においてどのくらいの頻度で他の人がした社会的接触に受け答えたか。
0. ほとんどの場合、接触をしようとした（例えば、会話を続けたり、人に接近）
 1. 殆どの場合、接触しようとしたが、ほんのわずかの時間だけである（単に質問に答えたり、うなずいたり、微笑んだりするが、接触を保ち続けようとはしない）。
 2. 時々で少しの時間だけ。
 3. 全く無し。
36. 他の人との友好
- 一週において
0. 2人以上の人と親密な友好関係をもった（これは本当の親友関係を示す）。
 1. 1人の親しい友達がいる。
 2. 少なくとも他人1人とカジュアルな親交がある。
 3. 他人となんら友好関係をもたなかった。
 - x. この質問はあてはまらない。他人に近づかなかった。
37. 日々の出来事への関心（例えば、身の周りで起きていることについて見る、聞く、反応する）
- 一週において何回くらい積極的に周囲で起きていることに注意を向けたか
0. しばしば（一日のほとんどという日が4日以上）。
 1. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日。
 2. 短時間が1日～3日。
 3. 全く無し。
38. 外での出来事への関心（家族のこと、目の前にいない友達、ニュース、スポーツ等に関心を示す）。
- 一週において何回くらい外でのできごとに関心をもったようであったか。
0. 毎日
 1. ときどき
 2. まれにある。
 3. なし

39. 自分の関心事を行う（例えば、積極的にテレビを見る、ラジオを聴く、趣味、絵を描く、読書、人とおしゃべりをする、散歩に行く。全体で行うレクリエーションは含まない）。一週において何回くらい自分の関心事を行ったか。
0. しばしば（一日のほとんどという日が4日以上）
 1. 短時間が4日以上か一日のほとんどという日が1日～3日。
 2. 短時間が1日～3日。
 3. 全く無し。
40. 他人を手助けする（他人への関心を示しているような手助けはどんなものでもよい。例えば、身体的に手助けしたり、不快を除いてあげたり、楽しませたりすることも含む）。一週において何回くらい他人を進んで手助けしたか。
0. しばしば（何回もという日が4日以上）
 1. 1、2回が4日以上か何回もという日が1日～3日。
 2. 週に1回～3回。
 3. 全く無し。
- x. この質問はあてはまらない。身体的に動くことができなかつたり（屋内で動くにも助けが必要）、ほとんどの日、抑制されていた。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版者名	出版地	出版年	ページ
なし							

雑誌

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中村広一	上顎前歯の毀損およびその治療に対する精神分裂病患者の反応に関する臨床的検討	日齒心身	16 (2)	149-152	2001

20020313

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、
P.168の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。